

西国巡礼慈悲の道

西国第三十二番 織山

観音正寺

「まごころ」

山主 岡村潤應



平成二十五年九月、日本
中が沸いた。オリンピック
委員会総会における投票に
より、ライバル都市のマド
リードとイスタンブールを
破り、二〇二〇年のオリン
ピック・パラリンピック大
会の開催都市にみごとに選
ばれたのだ。六年後世界各
国からの強者が日本の東京
に集まってくるのだ。

今から五十年前の一九六
四年（昭和三十九年）にも
高度成長する東京にてオリ

ンピックが開催された。当
時オリンピックの取材の為
に来日していた外国人記者
ジム・ミューレがオリン
ピックが終了し帰国する
時、おそらく羽田空港を飛
び立つ飛行機の中で書いた
詩であろうかと思う。

「シングルグッドバイ」

サヨウナラ、日本

サヨウナラ・・・電光掲

示板の文字が闇に浮か
ぶ・・・。

日本人にとって国を挙げ
ての大事業は終わり
メダルは渡され、幕は降
ろされた。

だが、雨宿りをしていた
ら、傘をさしかけてくれ
た少年。

土砂降りの雨の中、自ら
レインコートを脱いで貸
してくれた青年。

チップを受け取らないタ
クシーの運転手。

笑顔のエレベーターガー
ル。

・・・サヨウナラ、
美しい親切な国、日本。

私は、この国全体に金メ
ダルを贈りたい。

この詩を読んだとき、仏
教の無財の七施を思い出
す。当時の少年、青年、タ

クシーの運転手やエレベ
ーターガールの心の中には知
らずに仏教的な宗教心
が宿っていたのであろう。
そして、すべてにおいて見
返りを求めない真心がこ
もっている。それは偽りの
ない、また偽ろうとしない
心と真に観る心が生む観音
様の姿である。



西国第三十二番

かんのんしょうじ
 徹山 観音正寺

単立寺院

御本尊／千手観世音菩薩 開基／聖徳太子

あなとうと みちびきたまえ かんのんじ
 とおきくにより はこぶあゆみを

✳ 主な年中行事 ✳

- 1月1日～7日 修正会
 2月3日 節分星祭
 3月春分の日 彼岸中日法要
 4月8日 降誕会 花祭り
 5月22日 伝承法要
 8月18日 千日参り大祭
 9月秋分の日 彼岸中日法要
 12月13日 事始め 御本尊御身拭い

❀ 観音風光 ❀

当山は標高四百メートル程の所に伽藍がある。境内からの景色も素晴らしく近江富士や、天気の良い時は大津まで見渡すことができる。今は林道が出来て容易に参拝する事ができるが、一昔前までは自分の足で山に登らなければならなかった。しかしその苦しみが寺にたどり着くと大きな喜びとなり素直に御本尊に手を合わすことができる。一度歩いてご参拝下さい。

ご詠歌の意味

西の国の観音に憧れ始めた苦しく長い巡礼も、もう1ヶ寺打てば満願となる。観世音のお導きにより、遠い国からでもここまで来ることができました。感懐と観世音の導きに感謝する歌。

〒521-1331 滋賀県近江八幡市安土町石寺二番地

TEL 0748-46-2549 <http://www.kannon.or.jp>

納経時間 午前8時～午後5時 林道通行時間 午前8時半～午後4時半

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。